

2025年12月期 第2四半期決算説明資料

STOCK CODE: 6026



代表取締役社長CEO 鈴木 明人

2025年8月7日

目次

1. 結論と要約
2. ストック型収益事業の拡大
3. 2025年第2四半期決算概要
4. サービス別概況
5. アプリ外課金の進捗状況
6. 経営統合について
7. 総括

1

結論と要約

結論と要約 | 決算サマリ（連結）

アフィリエイトサービスの回復遅れにより、前年同期比マイナス （単位：百万円）

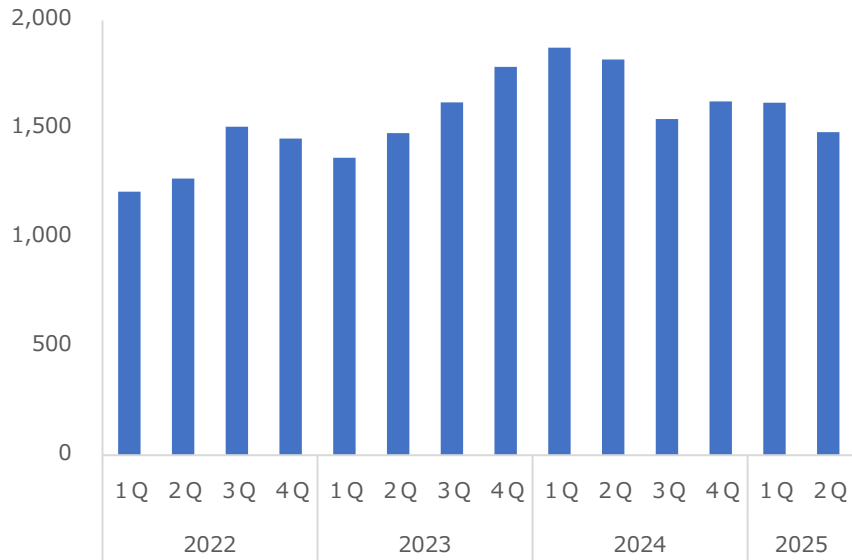
	2024年/ 第2四半期累計	2025年/ 第2四半期累計	対前年 同期差額
売上高	3,694	3,107	▲587
営業利益	516	228	▲288
経常利益	553	181	▲371
親会社株主に帰属する 四半期純利益	371	147	▲223

結論と要約 | 売上高・営業利益推移（連結）

アフィリエイトサービスの回復遅れにより、前年同期比マイナス

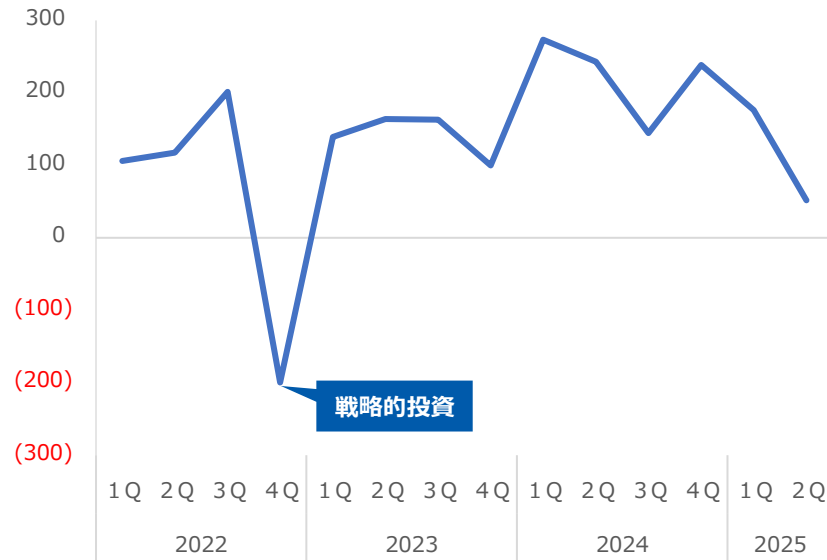
四半期売上高推移

単位：百万円



四半期営業利益推移

単位：百万円



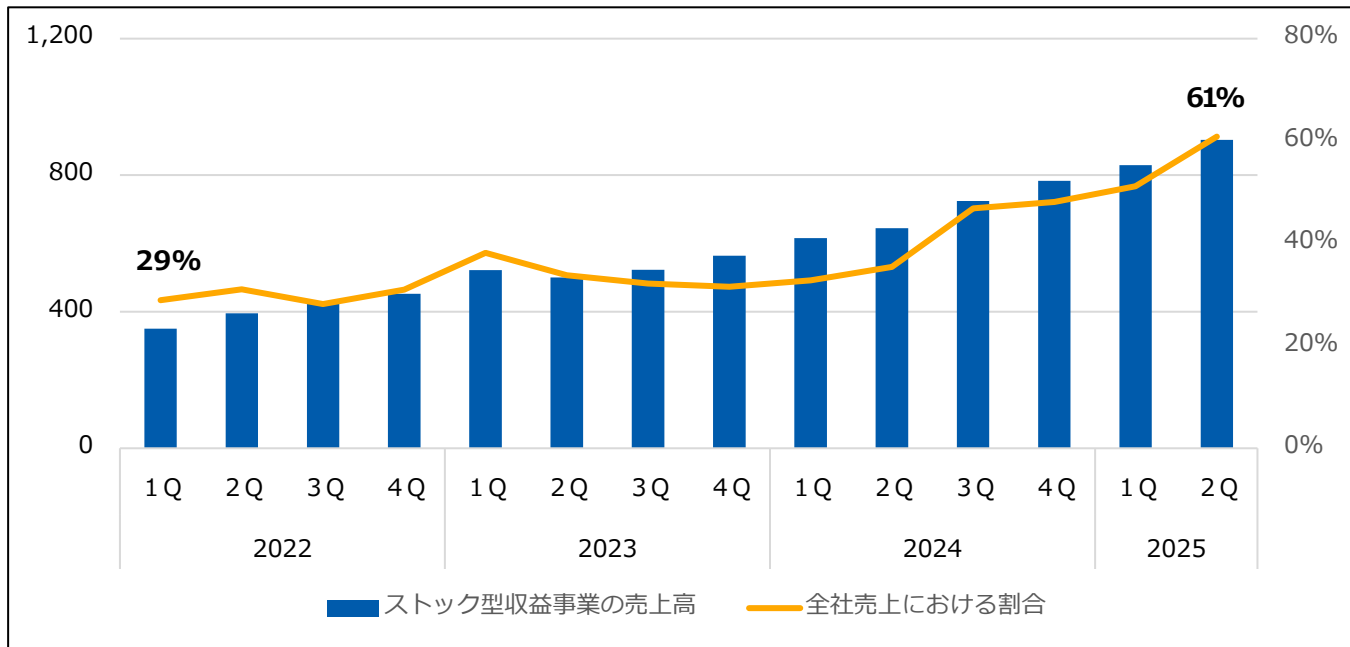
2

ストック型収益事業の拡大

ストック型収益事業は順調に拡大

注力するストック型収益事業は、全社売上の61%に達しており、中長期の企業成長を牽引する事業へと順調に拡大しております。

(単位：百万円)



ストック型収益事業・・・SEMサービス（MEO含む）及び不動産テック事業

3

2025年第2四半期決算概要

2025年第2四半期決算概要 | 貸借対照表サマリ (連結)

(単位：百万円)

	2024年/ 12月末	2025年/ 6月末	増減(%)
流動資産	2,428	2,055	▲15.3%
(現金預金)	1,264	937	▲25.8%
固定資産	339	445	+31.2%
資産合計	2,767	2,501	▲9.6%
流動負債	1,393	1,353	▲2.9%
固定負債	151	118	▲22.1%
負債合計	1,545	1,471	▲4.8%
純資産	1,222	1,030	▲15.8%
株主資本	1,219	1,028	▲15.7%
負債純資産合計	2,767	2,501	▲9.6%

2025年第2四半期決算概要 | 損益計算書サマリ (連結)

(単位：百万円)

	2024年/ 第2四半期累計	2025年/ 第2四半期累計	対前期 差異
売上高	3,694	3,107	▲587
売上原価	2,224	1,688	
売上総利益	1,470	1,419	
販売管理費	954	1,191	
営業利益	516	228	▲288
営業利益率	14.0%	7.3%	
営業外収益	38	3	
営業外費用	1	49	
経常利益	553	181	▲371
特別損益	0	0	
法人税等	182	33	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	371	147	▲223

4

サービス別概況

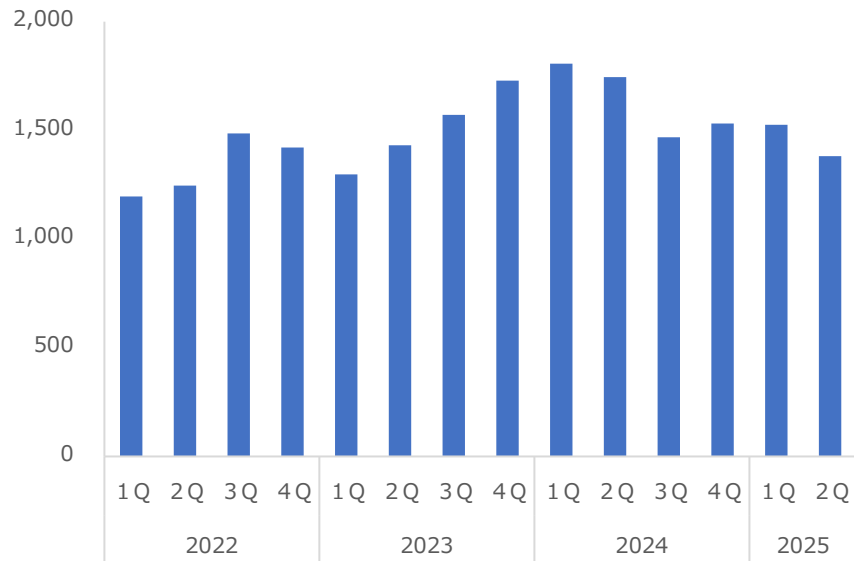
集客支援事業

集客支援事業

アフィリエイトサービスの回復遅れにより、前年同期比マイナス

集客支援 四半期売上推移

単位：百万円



集客支援 四半期営業利益推移

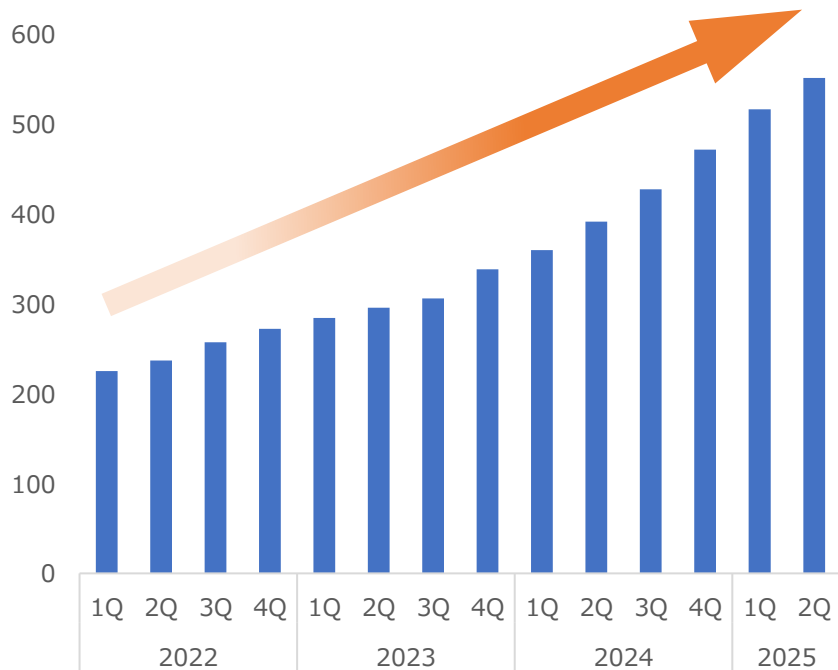
単位：百万円



MEOサービス

MEOサービス四半期売上高推移

単位：百万円



サービス別 四半期概況

売上高 前年同期比

+41%

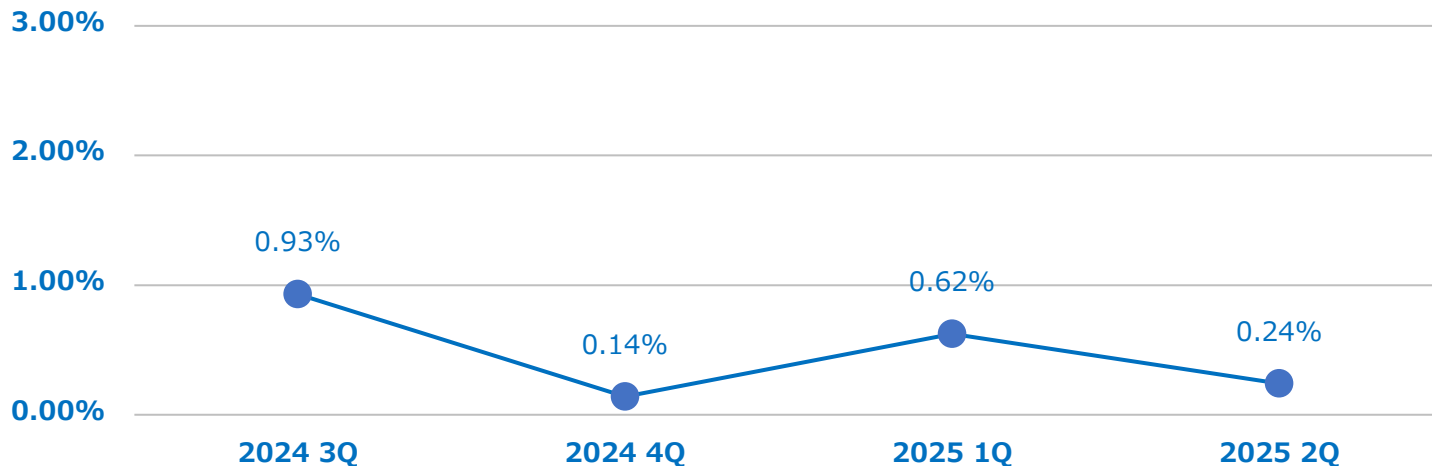
- SaaS、コンサルのストック売上好調
- CSの組織強化
- AI機能の強化開発・新規人材戦力化

MEOサービス

解約率は1%未満と非常に低い水準

ストック収益として、安定的かつ継続的な収益基盤を確立

MEO SaaSサービスの解約率



※カスタマーチャーンレート：各四半期毎に月次の解約率の平均を計算

MEOサービス

「ITreview Grid Award 2025 Summer」で
最高位『Leader』賞をMEO部門で史上初の17期連続受賞。



MEOSサービス

「ITreview Best Software in Japan 2025」のTOP100に選出
多店舗運営を支える利便性やAIサポートで高評価。



MEOSサービス

AIでクチコミ内の“感情”や“傾向”を可視化する新機能の追加
競合比較・多言語対応で、店舗運営とブランディングを強化。

MEODashboard by GMO に新機能追加

AIでクチコミ内キーワードの
“感情”や“傾向”を可視化

競合比較・多言語対応で、
店舗運営とブランディングを強化



The image shows a smartphone displaying the MEODashboard app. The screen displays a 'クチコミ傾向分析' (Review Trend Analysis) section. It lists keywords and their sentiment scores. For example, 'ランジェ' has a score of +20, 'お祝い' has a score of +100, and 'お祝い' has a score of 0. The interface also shows a bar chart and a line graph.

GMOTECH

MEOサービス

契約件数増

- 高効率のマーケティング施策の継続実施
- パートナーネットワーク強化と精査

単価向上 利益率向上

- 新機能開発の継続
- AI・RPAなどの積極活用（生産性UP）
- インバウンド向けオプションプラン開始

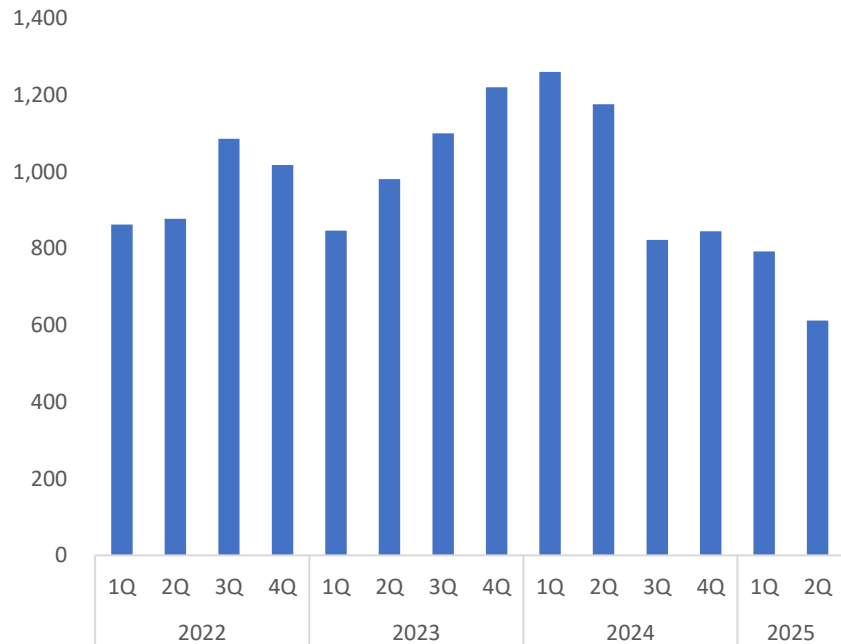
製品強化

- AI技術の製品実装
- 提携Platformの拡大
- AIエンジニアの積極採用

アフィリエイトサービス

アフィリエイトサービス 四半期売上高推移

単位：百万円



サービス別 四半期概況

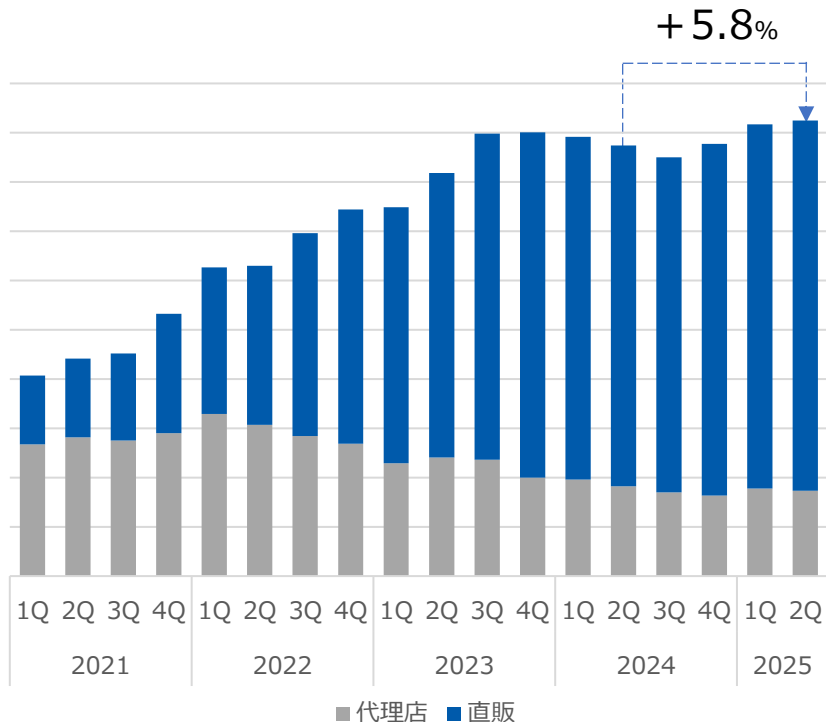
売上高 前年同期比

▲48.0%

- ・ 前年同期比▲48.0%
- ・ 前四半期比▲22.8%

アフィリエイトサービス

アフィリエイトサービス 四半期案件数推移



サービス別 四半期概況

案件数 前年同期比

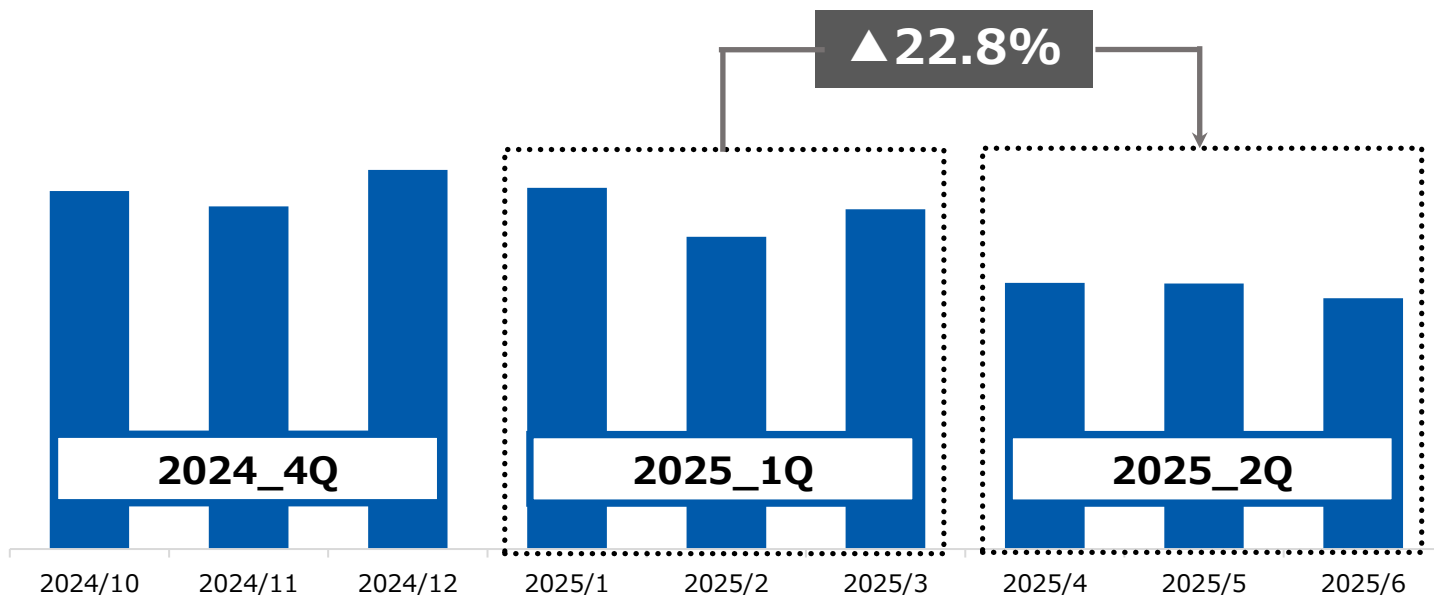
+5.8%

- ・ 前年同期比では+5.8%
- ・ 直販案件数の前年同期比は+8.7%
- ・ 3四半期連続で増加し、高水準を継続

アフィリエイトサービス

2025年第2四半期売上

業績成長トレンドへの回復を目指した取り組みを推進し、獲得案件数の増加を
継続するも回復には至らず、売上は2025年第1四半期比で▲22.8%

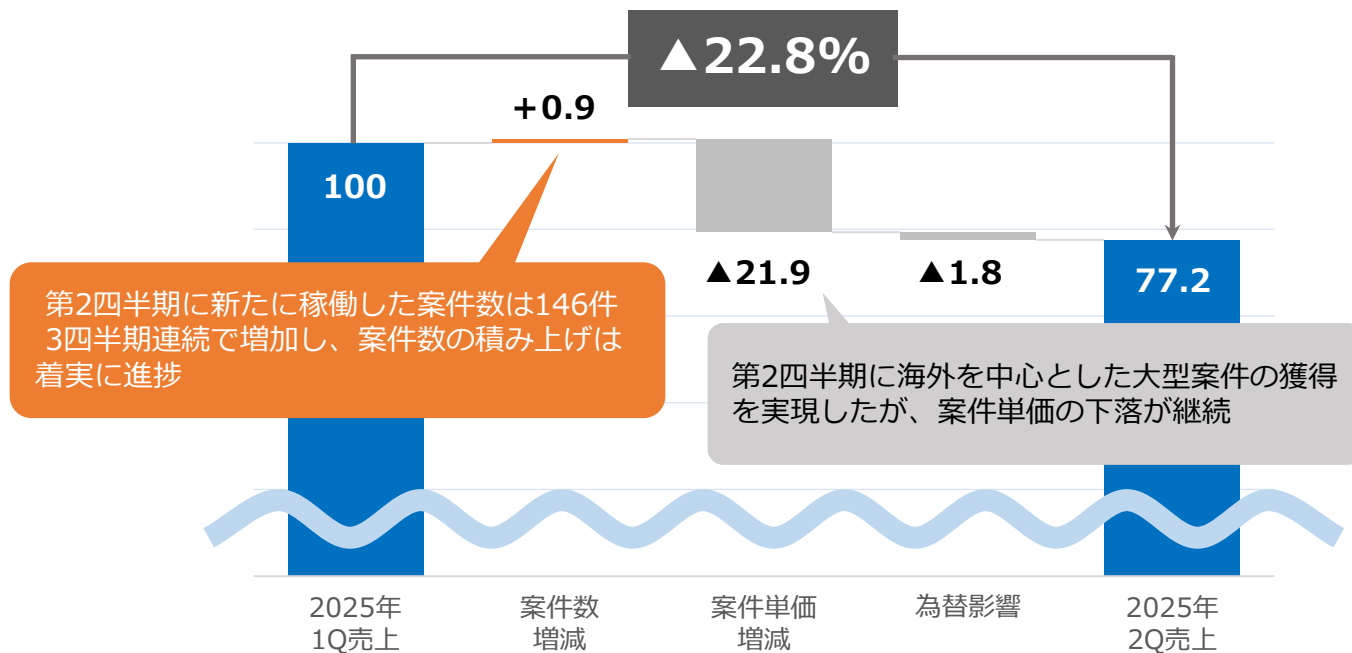


アフィリエイトサービス

2025年第2四半期の売上減少要因

営業体制強化により案件数は3四半期連続で増加したが、案件単価の下落が継続

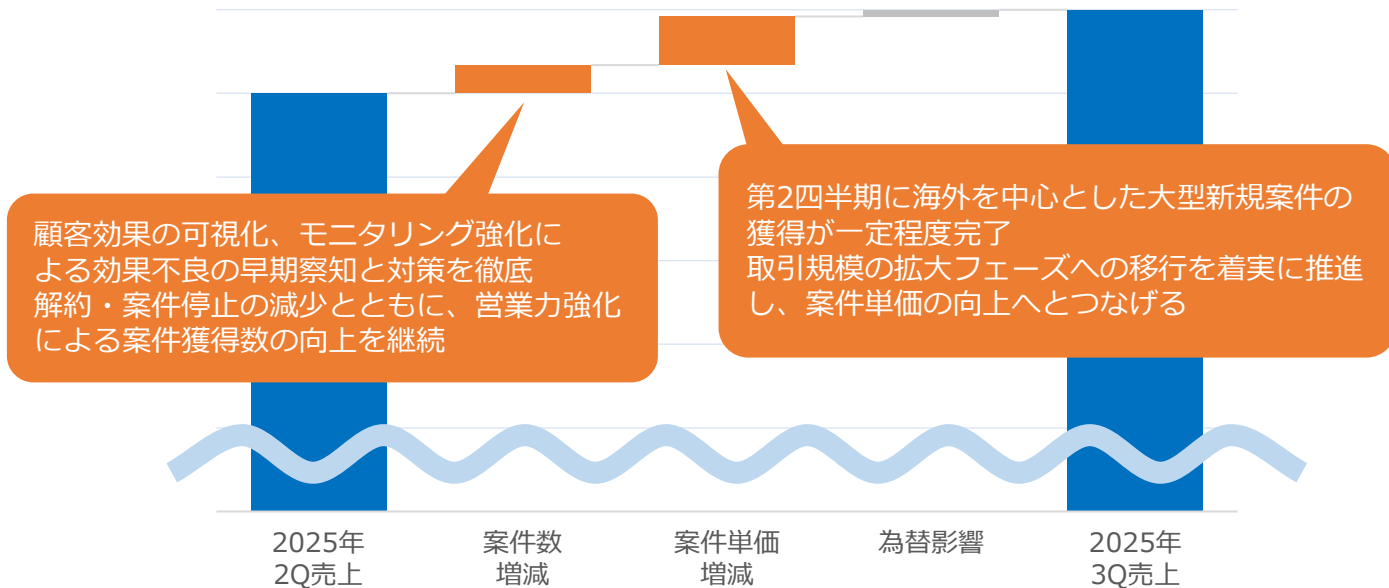
(2025年1Q売上を100とした指数)



アフィリエイトサービス

2025年第3四半期計画

案件数の積み上げ施策を継続して推進し、案件単価向上施策により業績回復を目指す



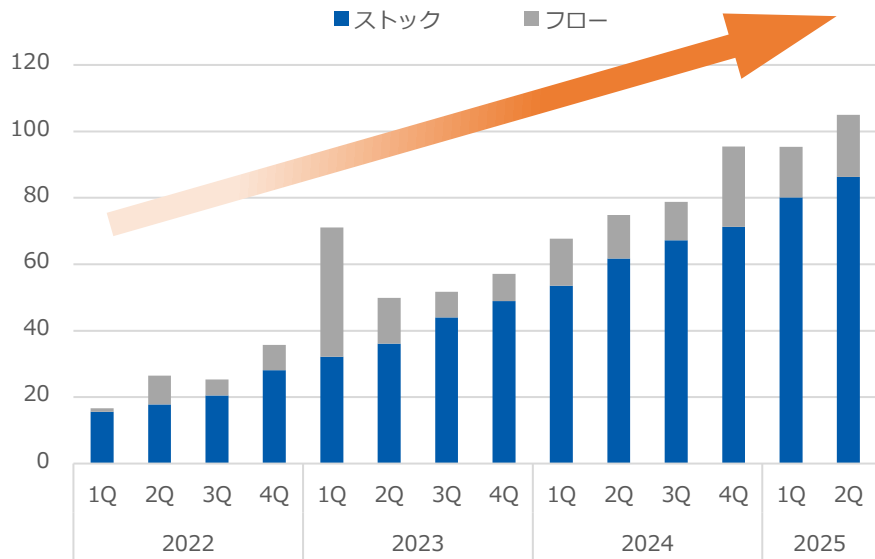
不動産テック事業

不動産テック事業

SaaS事業によるストック収益の確実な伸長で岩盤収益増加

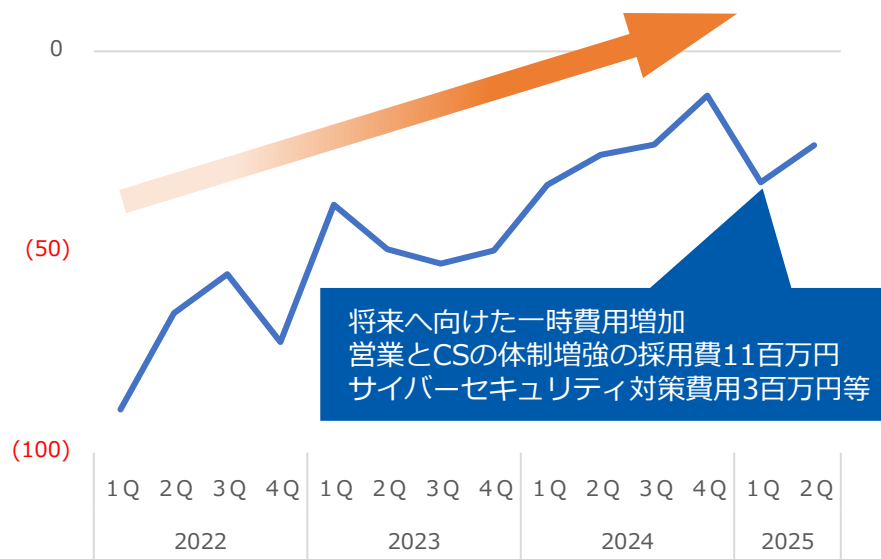
四半期売上高推移

単位：百万円



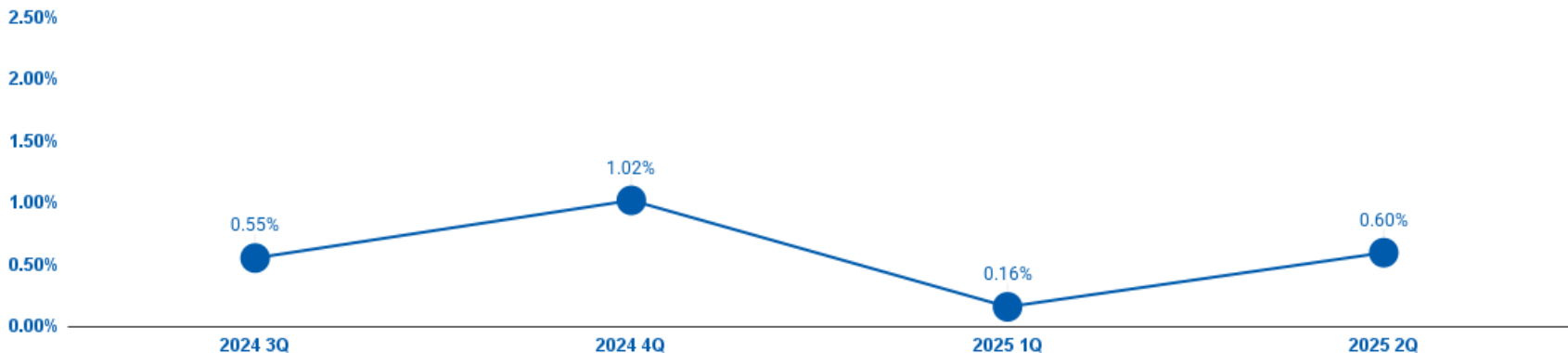
四半期営業利益推移

単位：百万円



不動産テック事業

当社サービスの解約率は1%程度と低い水準にある



※グロスレベニューチャーンレート：各四半期毎に月次の解約率の平均を計算

不動産テック事業

住友林業レジデンシャル オーナーアプリ（独自アプリ）をリリース

2025.5.1

GMO 賃貸DX
オーナーアプリ の
オリジナルアプリを
住友林業レジデンシャル株式会社が導入

GMO 賃貸DX
住友林業レジデンシャル株式会社



不動産テック事業

「GMO賃貸DX」が「IT補助金2025」の対象ツールに認定
～最大350万円補助で、不動産管理DX支援ツールが導入可能に～

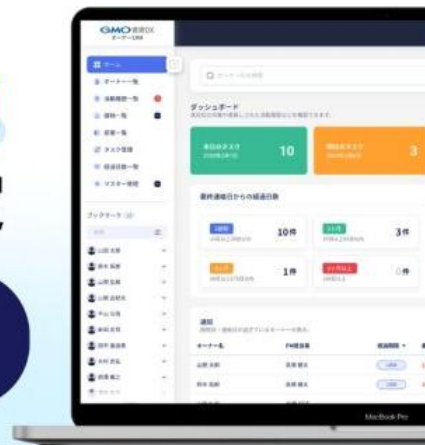
2025.5.19



GMO 賃貸DX

「IT補助金2025」
の対象ツールに認定

最大**350**万円補助で、
不動産管理DX支援ツールが導入可能に



タスク管理と検索機能を強化

GMO 賃貸DX

2025.5.28

GMO 賃貸DX

**不動産管理会社向けWEBが
タスク管理と検索機能を強化**

～解約申請のタスク管理とAND/NOT検索で、
管理業務の精度と効率を向上～

The image displays two screenshots of the GMO 賃貸DX web application. The left screenshot shows a task management table with columns for '項目' (Item), '人員' (Personnel), '内容' (Content), 'ステータス' (Status), and '操作' (Action). The table lists various tasks such as '解約申請' (Cancellation application) and '入居者管理' (Tenant management). The right screenshot shows a search filter panel with sections for 'オーナー管理' (Owner management) and 'オーナー管理 - 詳細' (Owner management - Details), allowing for AND/NOT searches across various attributes like '建物名称' (Building name) and '入居者情報' (Tenant information).

不動産テック事業

プレサンスコーポレーション オーナーアプリを導入

2025.6.17

管理戸数約 2 万戸超

株式会社プレサンスコーポレーション

GMO 賃貸DX

オーナーアプリ を導入

近畿圏、東海・中京圏での供給実績 **No.1**
選ばれたのは"業務効率×収益創出"のアプリ



GMO 賃貸DX



不動産テック事業

「ダッシュボード」機能をアップデート



不動産テック事業

圧倒的製品 No.1へ

- 毎月の製品アップデート継続
- 製品ラインナップ増

利用者に 魅力ある 製品へ

- オーナーに非日常体験を
不動産オーナー向けエグゼクティブクラブ
- 入居者の利便性向上

営業体制 強化

- 営業人員増
- 教育制度

5

アプリ外課金の進捗状況

アプリ外課金の進捗状況

- ・ 2025年上期中に3つのアプリに導入済、収益貢献は限定的
- ・ 下期中に追加で4つのアプリに導入決定済
- ・ 12月に施行予定の「スマホ新法（※）」に備え、開発を継続中



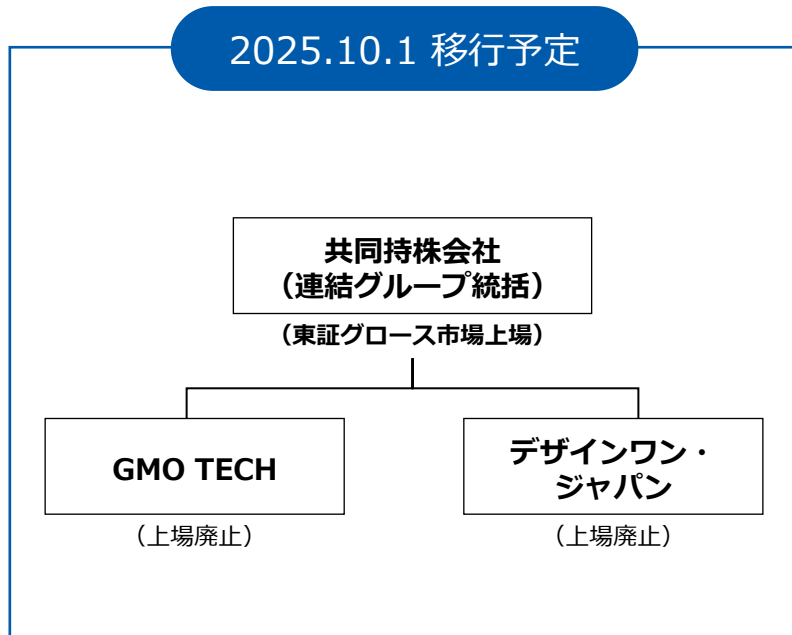
※ 正式名称は「スマートフォンにおいて利用される特定ソフトウェアに係る競争の促進に関する法律」。巨大IT企業によるアプリストア市場の寡占状態を是正し、公正な競争の促進、消費者利益の確保などが目的。アプリ提供者は、アプリ内課金以外の決済手段が可能になったり、アプリ内で自社ウェブサイト等へ誘導してコンテンツを販売することが可能になるなど、大きな変化が予想されます。

6

経営統合について

デザインワン・ジャパンとの経営統合

10/1より共同持株会社体制へ移行し、実質的に上場を維持する予定です。



経営統合後のシナジー

GMO TECHの集客支援サービスと、デザインワン・ジャパンのエキテンが連携し、国内 No.1 の店舗集客プラットフォームへ。

MEODash!
by GMO

GMO INTERNET GROUP が
店舗集客のDXを加速

売上アップ、来店効率化、店舗のファン化をオールインワンで実現
Googleマップ活用・店舗集客支援「MEODash! byGMO」

1 累計取引社数
No.1
※1

2 上位表示率
No.1
※2

3 顧客満足度
98%以上



エキテン

／ 日本最大級の店舗探しサイト ／



月間利用者数
670万人以上



無料掲載店舗数
約32万店



口コミ掲載数
累計約460万件

経営統合のスケジュール

2025年7月30日

株主総会承認日（GMO TECHおよびデザインワン・ジャパン）



2025年9月29日（予定）

上場廃止日（GMO TECHおよびデザインワン・ジャパン）



2025年10月1日（予定）

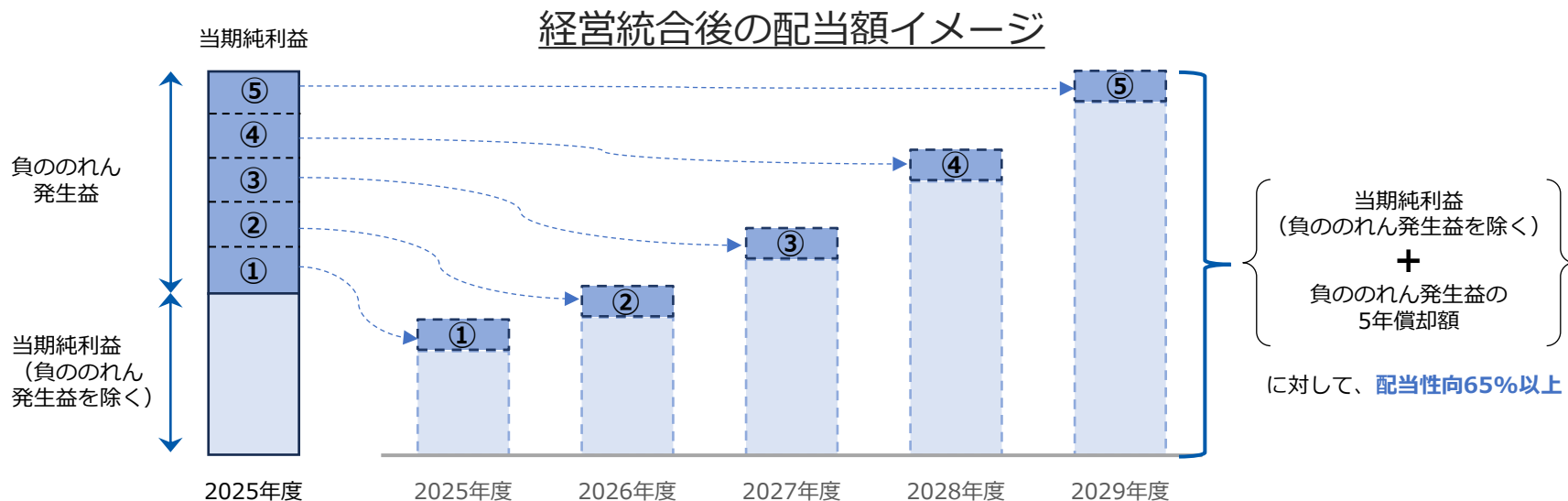
共同持株会社の設立および上場日

確定次第、速やかに

共同持株会社の経営方針、計画、業績見通しおよび
2025年度配当予想等

経営統合後の共同持株会社の配当方針（予定）

配当性向は65%以上、負ののれん発生益は5年均等で配当（※）



- ※ 1. 株式移転により、共同持株会社の2025年度に負ののれん発生益が生じる見込ですが、金額は現時点では未確定です。**負ののれん発生益は臨時的でキャッシュを伴わない利益ですが、発生時の2025年度から2029年度まで5年均等で償却をして当期純利益（負ののれん発生益を除く）に上乗せをして、配当性向65%以上とすることを予定しています。**
- ※ 2. 負ののれん発生益とは、企業買収等において、被取得企業の資産・負債を時価評価して算定した純資産（時価純資産）に対して、取得企業による取得価額が時価純資産を下回った場合に発生する利益のことであり、会計上は発生した期の特別利益として一括計上します。
- ※ 3. 2025年度の配当額は、GMO TECHの2025年1～12月、デザインワンの同年9～12月および共同持株会社の同年10～12月の連結損益計算書を連結した財務諸表を基に計算することを予定しています（負ののれん発生益は、上記1のとおり5年償却額のうち1年分を加算します）。
- ※ 4. 株式移転比率に基づき、デザインワンの株主に対して共同持株会社の株式を最大で228,031株割当てする予定です。また、A種種類株式の全てが普通株式に転換された場合には、共同持株会社の普通株式が296,975株増加する見込みです。合計すると、本株式移転による経営統合後に普通株式が最大525,006株増加する可能性があります。

7

総括

総括

2Q 振り返り

- MEOサービスが引き続き大きく成長
- アフィリエイトサービスにおいては単価下落が継続し業績回復に至らず
- 不動産テック事業においては、製品機能強化によりストック収益が順調に積み上がった

3Q以降 アクション

- MEOサービス、不動産テック事業はNo1サービスとしてプロダクト、組織力を更に強化（継続）
- 経営統合へ向け、シナジー創出の準備を加速
- アフィリエイトサービスにおいては海外大型案件の取引規模拡大フェーズへの移行を推進



本資料には、本日現在の将来に関する前提、見通し、計画等に基づく予測が含まれています。世界経済、競合状況、為替の変動等にかかわるリスクや天変地異などの不確定要因により実際の業績が記載の予測と大きく異なる可能性があります。

また本資料に掲載されている情報は、情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。また本資料内に記載されている業績予想などの将来の予測に関するものは、リスクや不確定要因を含みます。実際の業績は経済情勢や市場環境など、さまざまな要因により、かかる予想とは大きく異なることがあることをご承知おきください。当該情報に基づいて被ったいかなる損害に関しても、その理由の如何に関わらず一切の責任を負うものではありません。